

各 位
2023年5月2日
SBINFT株式会社

**SBINFT と Securitize Japan、Web3 時代の新しいデジタル証券
「特典 NFT 付き ST」のサービス提供に向け、業務提携を発表**

～ デジタル証券が新領域に突入。ST 保有者に向けて NFT を通した株主優待のような体験を実現 ～

NFT (*1) コンサルティング事業と NFT マーケットプレイスを運営する SBINFT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：高長徳、以下、「SBINFT」）と、セキュリティ・トークン（以下、「ST (*2)」）/デジタル証券の発行・ライフサイクル管理プラットフォームを提供する Securitize Japan 株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：ジェームス・エイチ・フィン、以下、「Securitize」）は、Web3 時代の新しいデジタル証券「特典 NFT 付き ST」のサービス提供に向けた業務提携を行ったことを発表します。



今回の提携により、Securitize の ST プラットフォームと SBINFT の NFT プラットフォームを連携させ、新しい投資商品「特典 NFT 付き ST」の発行・管理が可能となるサービスを、ST 発行企業に提供します。これにより、ST 発行企業はこれまでの投資商品における配当・利払いなどの金銭的リターンだけではなく、NFT をデジタル特典として付与することによる投資家エンゲージメントが可能となります。

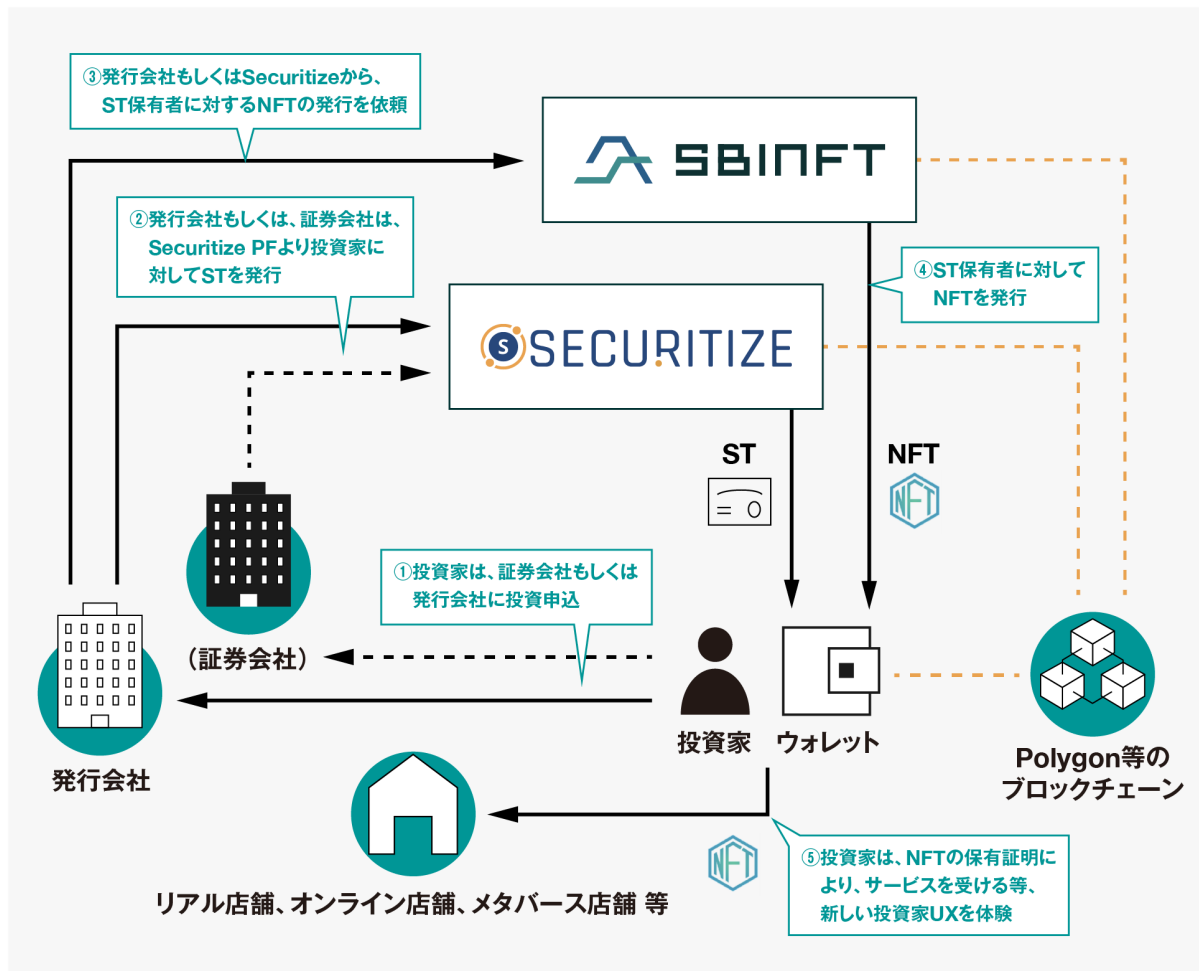
*1 NFT (Non-fungible token、非代替性トークン) は、ブロックチェーン技術を用いてデジタルアートやゲーム資産、スクリプトデータといったデジタルコンテンツや権利に唯一性を付与することで、価値を可視化し、売買を可能にするものです。

*2 ST (Security Token、セキュリティ・トークン、デジタル証券とも呼ばれる) は、証券や不動産の持分をブロックチェーン上で電子的に表現し、発行・流通を可能としたものを呼びます。また、ST 化した証券等を販売して企業やプロジェクトが資金調達を行うことをセキュリティ・トークン・オファリング (STO) と呼びます。

ST 発行企業がデジタル特典として付与する NFT については、以下のような活用方法が期待されます。

- ・ ST 発行企業のキャラクター NFT
- ・ ST 発行企業の店舗で活用できるクーポン NFT
- ・ ST 発行企業のイベントなどに参加できるチケット NFT
- ・ オリジナルのデジタルアート NFT
- ・ (不動産 ST の場合) 対象不動産 (商業施設、宿泊施設など) の利用権 NFT/会員権 NFT

また、特典として付与した NFT の二次流通可否は発行時にコントロールできます。二次流通可能な NFT は、SBINFT が運営するマーケットプレイスや、OpenSea 等のグローバル NFT 二次流通市場での売却も可能となります。



Securitize は、Quorum などのプライベート/コンソーシアムブロックチェーンだけではなく、Ethereum、Polygon、Avalanche などのパブリックブロックチェーンもサポートしており、発行企業の意向により使い分けることができます。また、SBINFT は、同じくパブリックチェーンである Ethereum、Polygon をサポートしております。

Polygon など、共通のパブリックブロックチェーンを双方が使うことにより、ST 発行企業は、ST 保有者に対して NFT を配布することが容易に可能となります。

また、Quorum などのプライベート/コンソーシアムブロックチェーンにて ST を発行・管理する場合においても、ウォレットアドレスの形式は Polygon と同じです。そのため、ST 発行企業は、ST 投資家のウォレットアドレスへ Polygon 上で特典 NFT を配布することができます。また、上図のスキームとは異なりますが、「ST 保有者が自らの操作により自身のウォレットアドレスに NFT を発行する」という UX を提供することも可能です。

SBINFT は、SBI グループが掲げる「顧客中心主義」のもと、NFT がより一般の方に利用しやすい環境を創出し、Web3 関連ビジネスの推進・展開を行ってまいります。

Securitize は、ST 領域におけるグローバルリーディングカンパニーとして、引き続き NFT を始めたデジタルアセットとの連携を含め、ST/STO の発展・普及に貢献してゆきます。

両社は今後、より一層のパートナーシップ強化を図り、社会により価値のあるサービスを提供してまいります。

■ SBINFT 代表取締役 高長徳

SBINFT は、既存サービスに対し NFT で付加価値を与え、新たな体験を与え市場発展を目指しています。今回の提携は、まさに Web3 時代における新しい投資商品を実現します。発行者と投資家がより良い関係を構築し、両者にとって有益なサービスになれると確信しております。

■ Securitize Japan カントリーヘッド 小林英至

STO と NFT を組み合わせることにより、最近の案件にみられる発行企業の資金調達と顧客エンゲージメント・マーケティングが同時に達成できるモデルに新たな選択肢を提供できるようになり、嬉しく思います。

【Securitize, Inc.について】

Securitize, Inc.は 2017 年に米国で設立された大手デジタル証券会社(*2)で、発行から流通市場まで対応したセキュリティトークン・ソリューションを提供しています。企業には法令に準拠した資金調達と株主管理サービスを、投資家にはオルタナティブ資産への投資機会を提供しており、3,000 社以上の企業と 120 万人の投資家を有しています。Securitize, Inc は子会社の Securitize, LLC および Securities Markets, LLC、Pacific Stock Transfer から構成されます。Securitize, LLC は、米国で SEC 登録のトランスファーエージェントです。Securitize Markets, LLC は SEC 登録のブローカーディーラーで、FINRA 及び SIPC に加入する代替取引システム (ATS) 提供業者です。詳しくは <https://www.securitize.io> をご覧ください。

【Securitize Japan 株式会社 について】

会社名 : Securitize Japan 株式会社 (セキュリタイズジャパン)
所在地 : 東京都中央区日本橋室町 2-1-1 日本橋三井タワー 6F
代表者 : 代表取締役 ジェームス・エイチ・フィン
事業内容 : デジタル証券の発行・管理プラットフォームを提供
設立年月 : 2018 年 9 月
ウェブサイト : <https://www.securitize.co.jp/>

【SBINFT 株式会社 について】

「ブロックチェーンサービスで革新的な経験を世の中に」
— Make a brilliant experience for the blockchain service —

SBINFT は、パブリックチェーンによる NFT マーケットプレイス「SBINFT Market」を運営しています。自律分散型エコシステムの構築を掲げ、NFT マーケットプレイスを中心とするビジネスモデルに留まらず、Web3 を牽引するような新時代のビジネス創出を目指しています。

所在地 : 東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号 泉ガーデンタワー
代表者 : 高 長徳
設立 : 2015 年 5 月
URL : <https://sbinft.co.jp/>
事業内容 :
NFT マーケットプレイス事業「SBINFT Market」の提供
NFT コンサルティング事業「NFT Consulting」の提供

<免責事項>

■本リリースに記載されている目的、概要及びイメージ図等にかかる一切の事項については、現時点で検討されている段階のものであり、必ずしもその実現を保証するものではありません。また、法令諸規則や社会情勢等の要因に基づき予告なく変更、修正、削除される可能性があり、それにより生じた損害に関しては当社及び株式会社 Securitize は一切の責任を負いません。

■本リリースは、デジタル証券に関する投資アドバイス、保証、分析、推薦を提供するものではありません。デジタル証券は、発行者によって提供され、その情報に関しては、発行者が責任を負います。Securitize と SBINFT の役員、取締役、代理人、従業員は、本技術を利用したデジタル証券について、いかなる推奨または保証を行うものではありません。本リリースに記載された内容は、デジタル証券の提供、配布、勧誘と解釈されるべきではありません。また、Securitize と SBINFT は、本技術を利用したデジタル証券に関連するカスタディサービスその他の金融商品取引業に係るサービスを提供していません。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

個人・法人の方からのお問い合わせ先

SBINFT 株式会社コーポレートサイト お問い合わせ <https://sbinft.co.jp/contact/>

報道機関の方からのお問い合わせ先

SBINFT 株式会社 広報担当 info@sbinft.co.jp